



平成 22 年 3 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社メディビックグループ  
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘  
(コード番号2369:東証マザーズ)  
問合せ先 執行役員管理本部長 門井 豊  
(Tel: 03 - 6415 - 4031)

### 継続企業の前提に関する事項の注記に関するお知らせ

当社は、平成22年3月2日開催の取締役会において、平成21年12月期有価証券報告書における継続企業の前提に関する事項について、下記のとおり注記することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当該注記を記載するに至った経緯につきましては以下の通りであります。

当初、平成 21 年 12 月期決算短信を公表した 2 月 12 日時点においては、当社の財務状態及び今後(今期)の資金繰計画、並びに Generation Japan Master Fund (Cayman) LP との平成 21 年 2 月 26 日付締結のコミットメントライン契約に基づき総合的に検討した結果、当該注記を記載する必要はないと判断いたしておりましたが、その後、既コミットメントライン契約の実効性を高める必要性が生じたことから、既コミットメントライン契約の契約内容見直しと再締結に向けた協議を重ねてまいりました。

しかしながら、本日までに双方折り合いがつかなかったことから、平成 21 年 12 月期有価証券報告書に当該注記を記載することとなったものであります。

### 記

当社グループは、これまで継続して営業損失、経常損失、当期純損失を計上しており、また、営業活動によるキャッシュフローにおいても継続してマイナスを計上しております。このような中、平成 21 年 12 月期連結会計年度におきましても、営業損失 626 百万円、経常損失 609 百万円、当期純損失 615 百万円、また、営業活動によるキャッシュフロー 379 百万円を計上するに至っており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループにおきましては、当該状況を解消すべく、安定した財務基盤の確立に向けて「事業収益の拡大」及び「資産キャッシュ化」の推進を図ってまいります。

## 1. 事業収益の拡大

### (1) 既存事業

バイオマーカー創薬支援事業におきましては、当社グループの強みである PGx 基盤技術を最大限活用し国内外の製薬企業、大学などの研究機関をターゲットに既存顧客に対しては、よりきめの細かいサービスを提供することでリピート受注に繋げてまいります。さらには情報システム分野を中心に新規顧客獲得のため人員配置の見直しを図り、営業体制を強化してまいります。

### (2) 新規事業

当社グループの筆頭株主である株式会社モンスター・ナイン社とともに、既存のテーラーメイド健康管理支援事業の拡大のみならず、DNA 解析技術、情報を活用した新規サービスの展開を検討してまいります。

### (3) コスト削減

各事業部門におきまして原価低減に努めるとともに、間接部門におきましては、役員報酬見直し、事務所移転をはじめとした各種コスト削減を実施し、企業規模に適した体制に整備してまいります。

## 2. 資産のキャッシュ化

これまでの方針どおり、営業投資有価証券の売却を積極的に進めてまいります。株式市場低迷の煽りを受け遅延しておりました仕掛かり案件をはじめとして、これまで培った情報ネットワークを最大限活用し、早期のキャッシュ化を実現してまいります。

現時点では、以上のような施策について実施途上であるため、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結財務諸表には反映していません。

以 上